

県外派遣報告書

審判員名	眞榮喜 工	所属	クラブ連盟
大会名	平成28年度 第30回 関東クラブバスケットボール選手権大会		
期間	平成29年2月4日(土)、5日(日)		
会場	千葉ポートアリーナ		

スケジュール

期 日	内 容	場 所	
2月3日(金)	審判会議・レクチャー	ハロー貸会議室	千葉駅前
2月4日(土)	1、2回戦	千葉ポートアリーナ	
2月5日(日)	準決・決勝	千葉ポートアリーナ	

会議 講義 内容

指名審判員 小坂井 氏 「コート上でやるべき事」
 我々がコート上でやるべき事は様々あるが、最も必要なことはルールに沿った正しい判定。そうすることで、正しく、強く、ダイナミックなパフォーマンスを生み出し、バスケットボールを楽しく、魅せることが出来るようになる。「ルールに沿った正しい判定」をするために「情報収集」が重要である。多くの情報を集め、その中から選択し、判断し、判定に繋げる。そういったことが習慣化されるまで意識し続けることが大切。最後は自分！目の前の判定から逃げないこと！！

指名審判員 増淵 氏 「コート上でやるべき事」2
 コート上で様々なことが必要とされるが、その前に、まずルールを熟知、理解しているかどうか。それがあってこそ、プレイやコート上で行われていることの確認が出来る。プレイや選手、コーチ、チーム、目の前で何が行われ、どう発展していくのかを情報収集し、クルーとして処理すること。今大会に関していえば、クラブチーム特有のズルさ、質の悪いもの、やり返しなど多くのことを予測し、共有して運営することが大切。この場にいる方々の多くの判定は間違っていないはず。それをどの様に伝え、信頼関係を築いていけるかをトライする。

関東ブロック長 渡邊 氏
 今大会に限ったことではなく、全ての試合において、判定の根拠を持って運営すること。それを納得してもらおう吹き方や伝え方を意識してほしい。そのためには「しっかり動いて確認しに行って、最後に止まって判定」出来るように。上級審判員に関しては、コート上での指導(タイムリー)にも意識して運営してほしい。正しく強いチームが関東代表として勝ち上がることを望む。

実技

担当試合	期 日	平成29年2月4日(土)	男子	1回戦
	対戦カード	谷田部クラブ(茨城) VS 鎌ヶ谷クラブ(千葉)	主審	
	相手審判	松本 祐大(栃木)		

ミーティング内容 主任 三好 啓太 氏(千葉)

2人で試合の入りから判定基準を示そうという姿勢が見られた。その中で、このレベルのチーム、選手、試合として、本当に取り上げる必要があったかどうかをより見極められると良い。後半から良くなったが、初めから相手のプライマリーはもっと任せて良かった。知っておけばよいことと、表現しなくてはならないことを選択を。

担当試合	期 日	平成29年2月5日(日)	男子	決勝
	対戦カード	RBC東京(東京) VS 横浜ガズビリティ(神奈川)	U2	
	相手審判	R:久保 裕紀 氏(本部) U1:廣瀬 俊昭 氏(神奈川)		

ミーティング内容 主任 増淵 泰久 氏(指名)

それぞれが、それぞれのプライマリーをしっかりと管理し、良い試合運営だった。そのなかで、主審が引いた基準として、鳴らさなければならないケースが幾つか副審2人の場所であったのではないか。そこを改善してほしい。吹いたものは間違っていない。その伝え方が大切。より根拠を。

全体の感想

今大会、試合に臨むまでとコート上における情報収集はもちろんだが、コミュニケーションという部分を強く意識して行なった。試合中、クルーと何を共有するか、どう伝えたらよいのか、チームとのメッセージの送受信。目の前で起こる一つひとつの判定を大事にしつつ、そのために何が出来るか。今後も大きな課題である。

この度、千葉県協会の方には細部にわたるまで御配慮頂き本当にお世話になりました。また、今大会へ派遣して下さいました埼玉県協会、日頃活動を共にしている県内審判員の皆様へ、この場をお借りして御礼申し上げます。今回の経験を少しでも地元に戻元し、切磋琢磨し、精進して参りますので、今後も御指導の程、宜しくお願い致します。